

氷見市長

林 正之 様

要 望 書

1. 主要地方道氷見惣領志雄線万尾交差点及び島崎橋の道路改良  
工事について
2. 神代川への新たな橋の架橋と進入路の整備及び堤防の嵩上げ  
と川底の浚渫工事について

令和2年6月17日

十二町自治振興委員会

委員長 畠中 郁夫



## 要 望 事 項

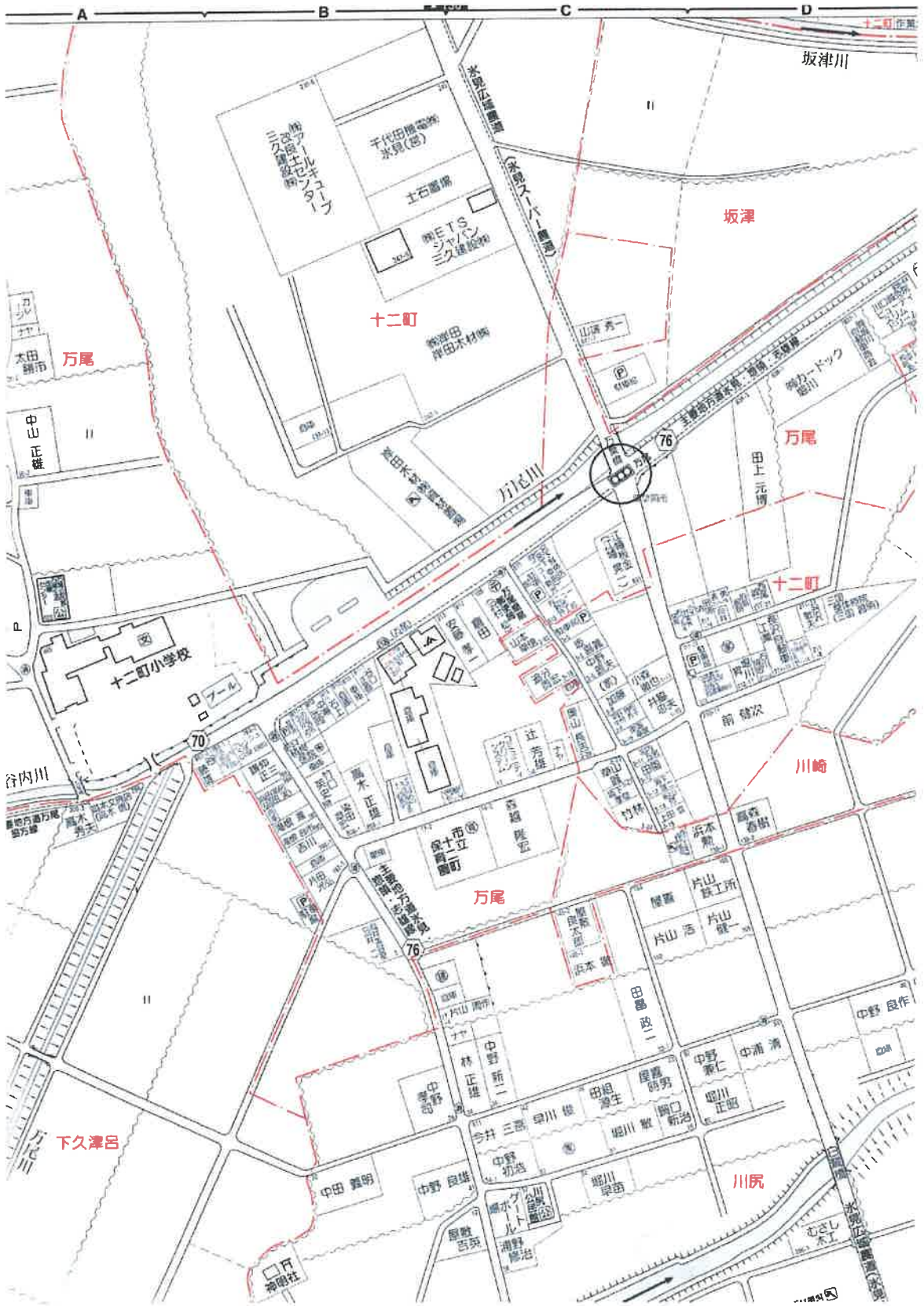
### 主要地方道氷見惣領志雄線万尾交差点及び

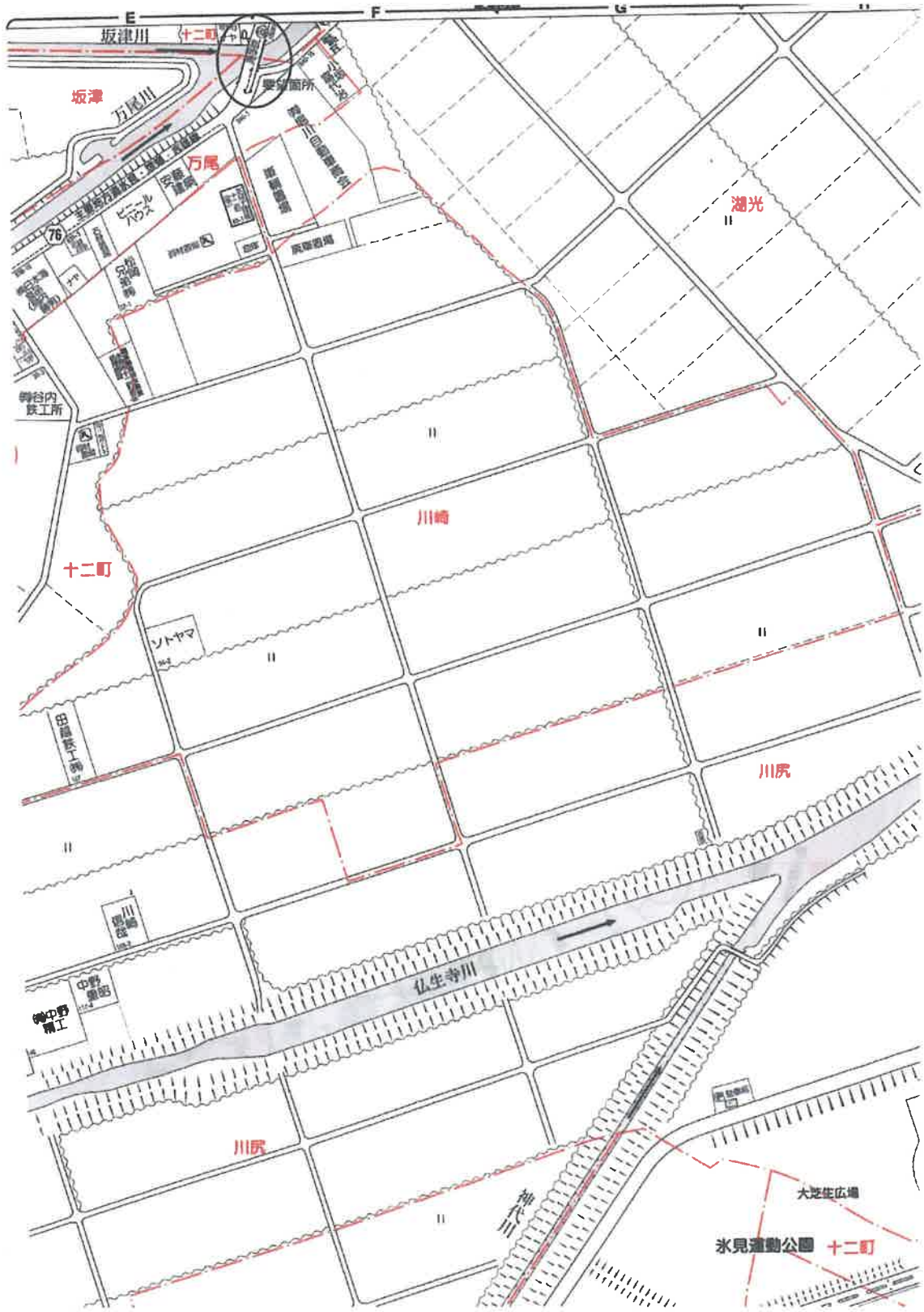
### 島崎橋の道路改良工事について

主要地方道氷見惣領志雄線は、氷見市街地より十二町へのアクセス道路であるとともに、交通量も多く地域住民にとって大変重要な道路であります。しかしながら、十二町地区は地盤が軟弱な地域であることから道路の沈下が著しい状況であります。

特に、主要地方道氷見惣領志雄線の万尾交差点の両側と、島崎橋の両側の地盤沈下による段差は年々進行しており、見通しの悪さにより、交通事故などが発生する等、危険な状況になっています。また、地盤沈下の進行により大雨の時には冠水することも大変増えてきています。これまでの要望により、県による測量設計などが進められていますが、道路の嵩上げによる周辺住民への対策を考慮した早期の工事着手が求められています。

地域住民の安心安全のためにも、主要地方道氷見惣領志雄線の万尾交差点と島崎橋の早急な段差の解消のための道路改良工事の早期着手を強く要望いたします。





現況写真図 万尾交差点（万尾方向より）



万尾交差点（島崎方向より）



島崎橋（島崎方向より）



島崎橋（万尾方向より）



## 要 望 事 項

### 神代川への新たな橋の架橋と進入路の整備及び 堤防の嵩上げと川底の浚渫工事について

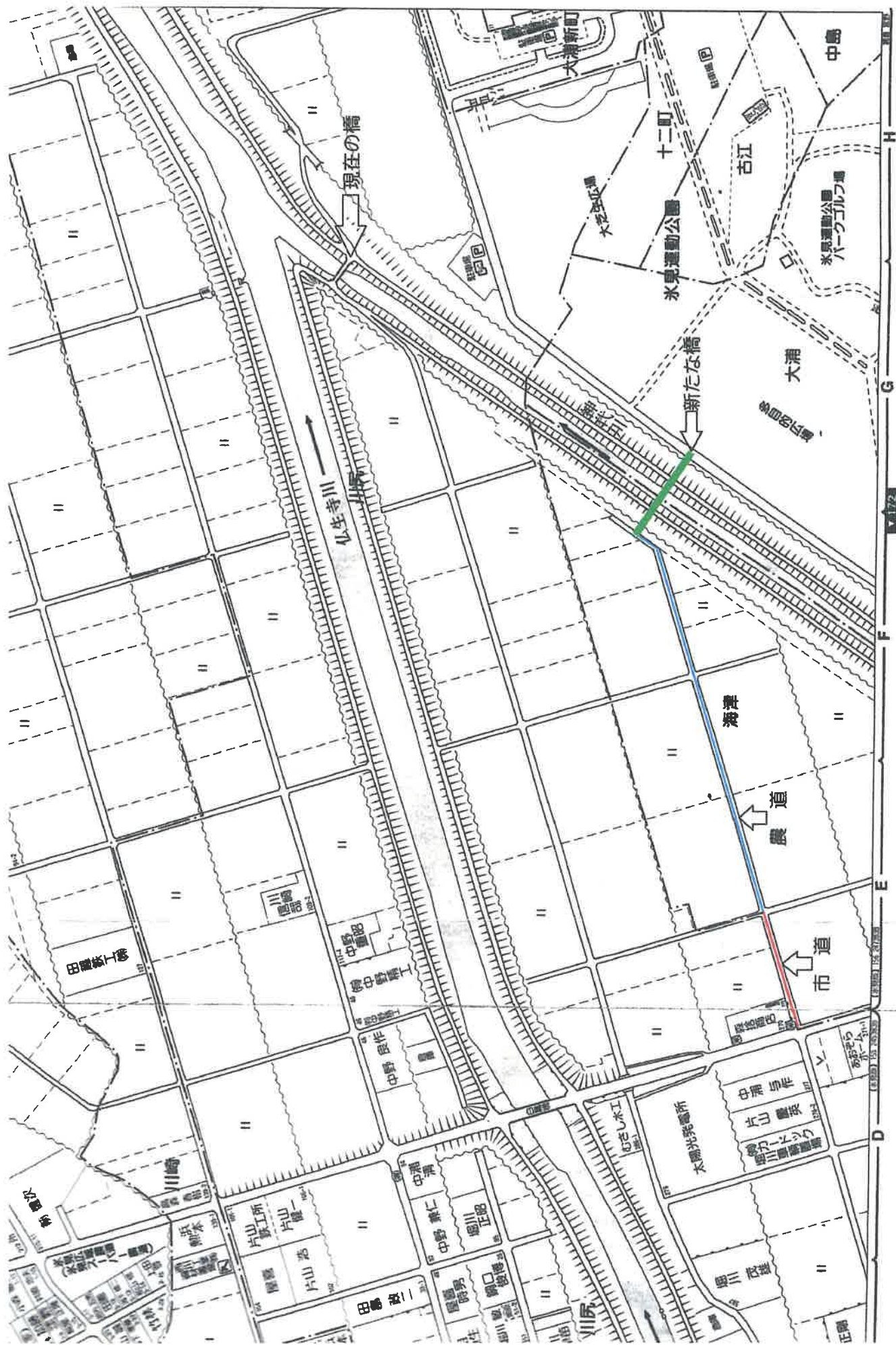
海津地区・川尻地区は、過去に2度神代川の大規模な決壊により、各世帯では床上浸水・床下浸水の被害にありました。また、神代川の堤防の越水や田への浸水など毎年のように経験し苦しんでいます。

原因としては、神代川が仏生寺川の支流で水が塞き止められることや、合流地点の堤防幅が狭くなっていて、土砂が堆積しやすくなっていることにより、神代川下流の橋の橋げたと川底の間隔が最高で160cmしかなく、大雨の際、上流からのゴミが橋で塞き止められ水位が上がることなどが考えられます。

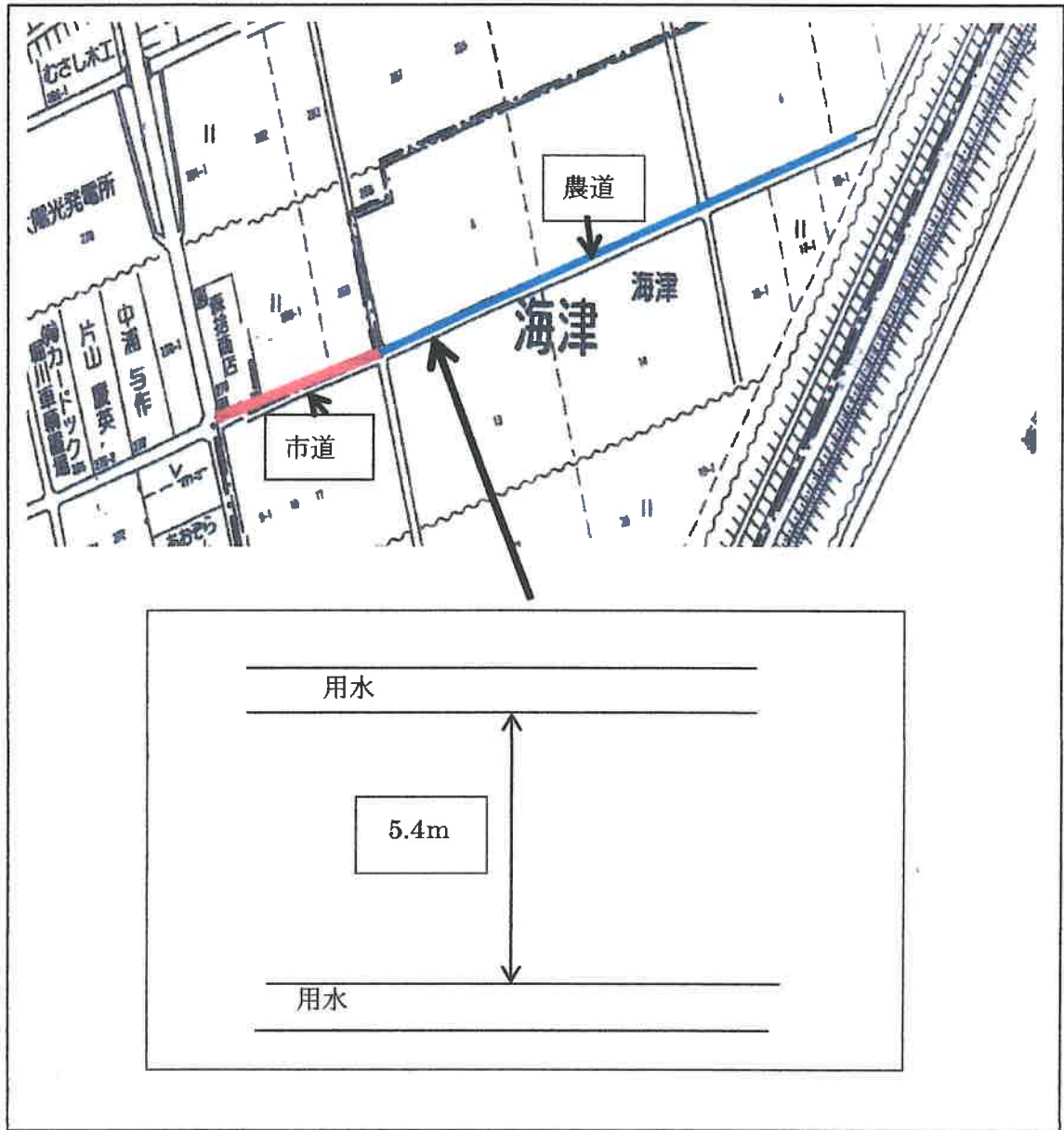
これまでも橋の改修や堤防の嵩上げ及び川底の浚渫工事を要望してまいりましたが、現在の橋が仏生寺川の護岸工事の進捗により、撤去も余儀なくされる可能性もはらんでおります。そこで、現在の橋の上流に新たな橋の架橋をすることで、神代川の長年の課題を改善できるとともに、地域住民の貴重な生活道路として運用できると考えます。

地区住民が安心・安全な日々の生活がおくれるよう、神代川への新たな橋の架橋と進入路の整備及び堤防の嵩上げと川底の浚渫工事について強く要望いたします。

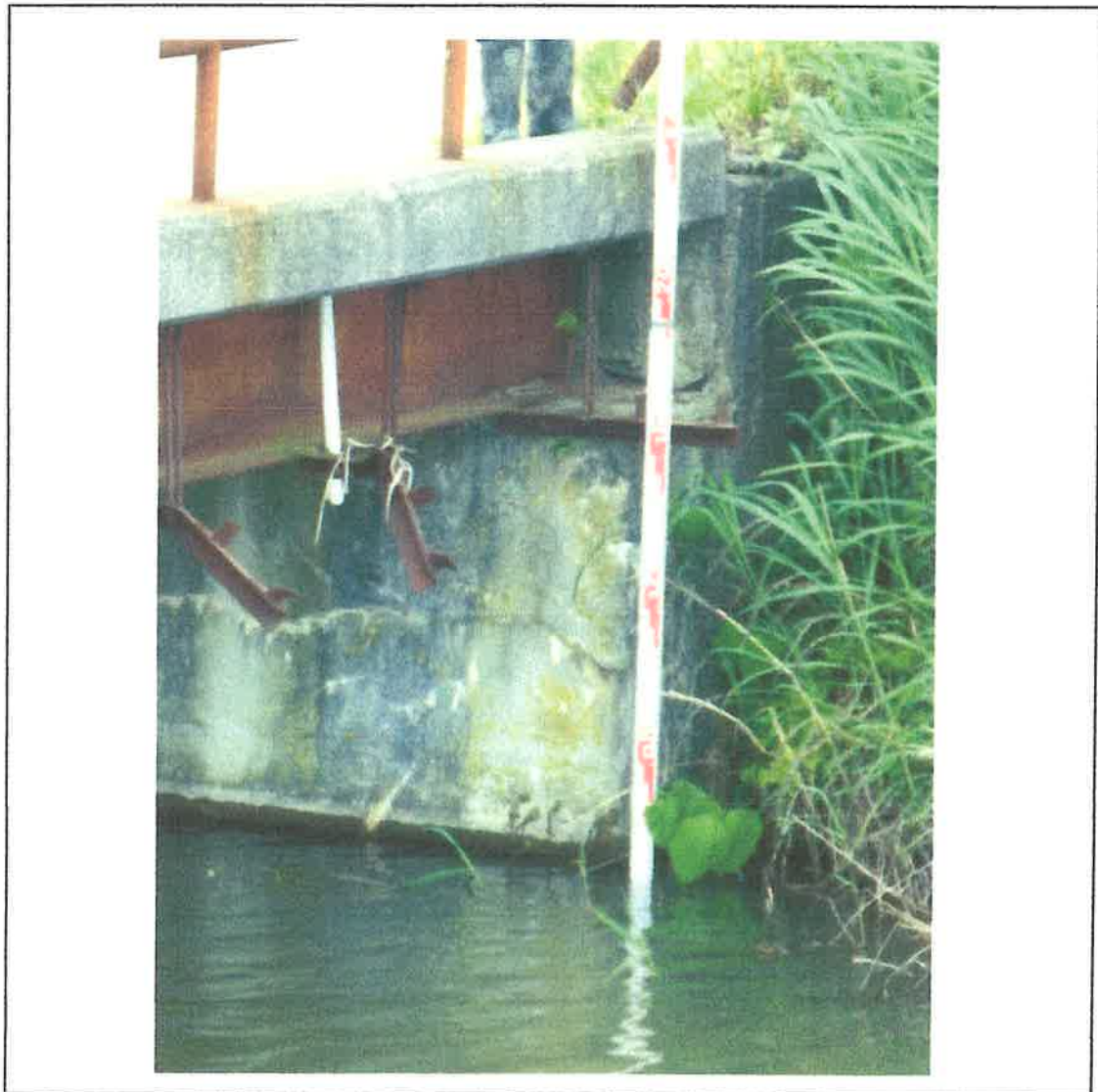




拡大図



神代川合流点・橋の現状写真



現況写真









